

〔科目名〕 ACB 演習				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 香取真理						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 「ことばと文化」について考える。更に総合的な英語運用能力の向上を目指す。							
〔演習内容〕 「ことばと文化」について考える。「ことば」とは何か、「ことば」の発達、進化、変化と「文化」とのかかわりについて、また、文字の歴史・ことばの歴史・翻訳理論・字幕翻訳などについて、参考資料を基に考察・ディスカッションを行う。秋学期からは、それぞれがテーマを決めて、調査・分析を行う。2月にはそれまでの研究成果を報告する。報告会では英語でプレゼンテーションを行い、その成果を発表要旨集にまとめる。また本演習では、TOEIC Speaking 100点以上の得点を目指すと共に、すでに身に付いている基本的な文法や構文を様々な局面で効果的に活用する能力を伸ばして行く。具体的には、多様なコミュニケーション場面で、自分の意図する内容を伝えたり、状況を説明したり、グラフや表、資料を基に、質問に応じてその内容を伝えることが可能な英語運用能力を目指す。							
〔科目の到達目標〕 演習のテーマである「ことばと文化」についての理解を深めると同時に「英語運用能力」の向上を目指す。							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
		○	○				
〔前提条件〕 なし							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 演習への積極的参加、研究発表会での研究成果発表、発表要旨の提出。							
〔教科書等〕 演習時に提示							
〔実務経歴〕							
授業スケジュール							
時期	テーマと内容						
4月～7月中旬	ことばと文化について、講義&ディスカッション形式で知見を深める。 英語運用能力の向上に努める						
7月下旬 月～8月	練習問題等も併用しながら、集中的に英語運用能力の向上につとめる。						
9月～12月	演習活動と並行して自分のテーマについて研究を進める。英文論文の書き方を学ぶ。						
2027年 1月	研究発表会に向けて英語プレゼンの練習をする。英語会話能力を測る英語標準テストを受験する。						
2月	研究発表会参加。発表要旨提出。						